

2019年のマレーシア・キナバル山山行

79生 上原睦男

日程：2019年9月23日～9月28日

山名：キナバル（4095m）

人数：1名（他、現地ガイド及び登山ガイド有）

9月23日（月）

1日目 （那覇空港→仁川空港→マレーシア・コタキナバル）



9月23日午後那覇空港から仁川空港に約2時間半のフライト、那覇空港よりもはるかに大きな空港であった。



マレーシア行乗り換えまで、4時間ほど待ち時間があったが、空港内において、朝鮮国王パレードがあり、なかなか楽しい。



空港内のレストランで食事、人気メニュー3番目の海鮮汁をいただく。

汁を飲んでびっくりの辛さ（・_・;）

（結局海鮮具材のみをいただきましたーおいしかった!）



現地ガイド・キャサリンさんが空港までお出迎え。日本語ペラペラでした。

キャサリンさんは、私の姉に顔がそっくりでした。（ウチナンチュは-南洋系の血が混ざっていることを確信!）

9月24日(火)

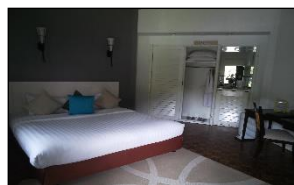
2日目 (コタキナバル→キナバル国立公園)



コタキナバルのホテルから、ガイドさんと大きめの車にて、キナバル国立公園に向かう。途中できれいなモスクが遠くに見えたが、現在は、軽装で入る観光客がおり、外国人は入れないとのこと。



キナバル国立公園・HILL・LODGE に到着。きれいな公園で、LODGE に一人で止まる。一人で止まるにはもったいないほどのきれいなロジジでした。



HIL・LODGE からのキナバル山遠望
夕方雨が上がり、夕刻のキナバル山が見られた！



HIL・LODGE からのキナバル山遠望
翌朝もきれいに晴れ上がり、キナバル山が見える！



キナバル山登山ゲート
きれいなゲートに心が躍る！！



9月26日(木)

3日目 (キナバル国立公園→登山ゲート→ラバンラタレストハウス)



国立公園から車で、キナバル登山ゲートに到着。ここで、事前に渡されている入山パスをチェック。キナバル登山は、山小屋(レストハウス)の定員数しか山の中に入れないため、事前に入山許可書の手配が必要。これらの手配手間を鑑み、登山ツアー(といっても一人ツアーでした!)を申し込み。



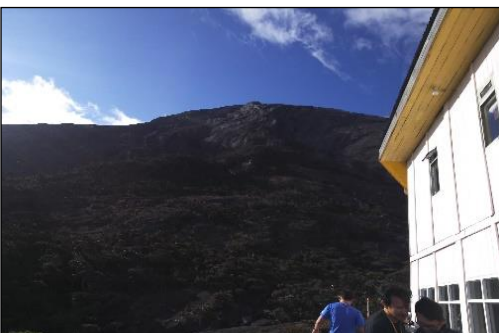
登山道はしっかりしており、急斜面は階段整備されており、足元の心配は全くない、登山道途中の植物相も沖縄とそっくりであり、ヤンバル山道を登っている感覚となる。



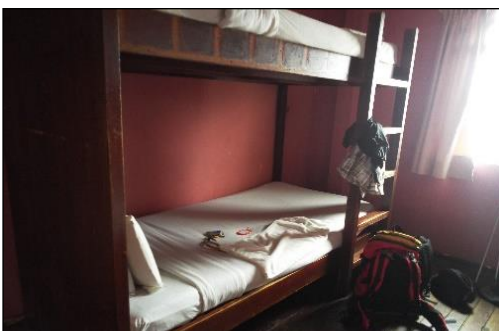
大体30~50分間隔ではシェルターと水洗トイレがあり、休憩もトイレも全く心配なし、トイレの裏を除くと、塩ビのパイプで汚水をすべて下に送っていた。ヤンバルもこのくらい整備すれば金を取れる!



キナバル登山では、入山手数料が4~5万円かかるが、宿泊代や食事・弁当も付いてくる!



ラバンラタレストハウス着、そこから見上げるキナバル山遠望、この岸壁を登るのかとややビビる!!

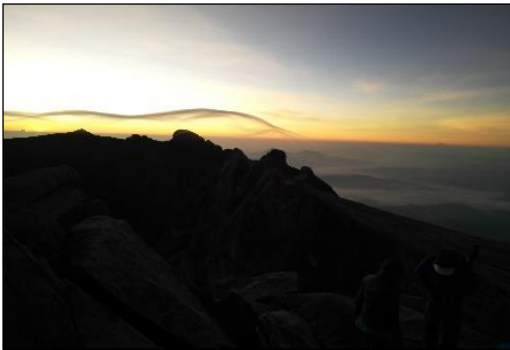


山小屋の中の宿泊ベッド4人部屋の2段ベッドでした、食事はきれいな食堂でのビッフェスタイルでおいしかったです。



9月27日(金)

4日目 (ラバンラタレストハウス→キナバル山・ローズピーク→下山)



ラバンラタレストハウスから午前2時に出発！
懐電のみの明かりを頼りに岩盤を歩いて登っていく、頂上手前、快晴・日が明けてきた！



キナバル山頂上ローズピーク！
岩盤でできた頂上に、多くの人が頂上付近に集まっていた。



山小屋から出発して、3時間でキナバル山(4095m)登頂しました。雨が多いマレーシア・ボルネオ島、タベも大雨が降ってましたが、登頂日はばっちり快晴！！ガイドと一緒に記念撮影！



キナバル山麓は熱帯のジャングルとなっており、ほぼ沖縄だったが、環境変化が大きく、3500mを超えたあたりから岩盤となり、山頂は花崗岩の広大な一枚岩。9月でしたが、頂上付近は5度以下でした！



下山後にもらえる登頂証明書
色鮮やかで、記念になります！！



